

2025年3月期 第3四半期 決算概要

2025年2月13日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証スタンダード)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2025年3月期 3Q決算概要

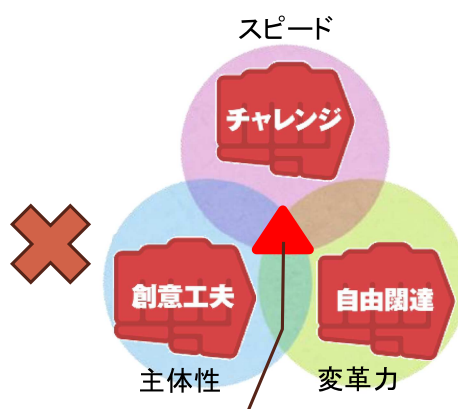
- 本資料内では、中期経営計画「バリュークリエーション」を「VC(ブイシー)」とする略称を使用

パンチグループの「パーパス」によるビジョン

「パーパス」実現のための「中長期ビジョン」を策定中

パンチグループのパーパス

ものづくりによる信頼、
真摯な技術、自由な創造力で、
次世代の豊かな未来をカタチづくる



FAも含めた特注分野で発揮

- スピード感のあるチャレンジ実行
- 主体性を持って創意工夫を凝らす
- 変革力を持ち自由闊達な議論を実施

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

1

- 現・中期経営計画「VC2024 Revival」は2025年3月期で最終年度を迎えており、「付加価値の高い特注品ビジネスに、より特化し、持続的な利益成長を目指す」ことを基本戦略とし、事業構造の改革に取り組んできており、この基本戦略の一環として、ミスミグループとの資本業務提携契約を締結したが、協議中の案件が多く、業績貢献の度合いをどこまで織り込むかの上振れ幅が不透明であることも事実のため、2026年3月期は中期経営計画を策定せず、効果の測定を行う期間として設定することを2024年11月に公表済み
- 次期中期経営計画は公表しないが、2025年3月の当社創業50周年を機に、次の10年間における当社グループの「ありたい姿」を提示すべく、中長期ビジョンを策定中であり、2025年5月に当社コーポレートサイト及び決算補足説明資料等において公表予定
- 中長期ビジョンに先駆けて、2024年8月に公表したパンチグループのパーパス

ものづくりによる信頼、
真摯な技術、自由な創造力で、
次世代の豊かな未来をカタチづくる

に基づき、中期経営計画の策定や会社の方針決定を行う

2025年3月期 3Q決算ハイライト

日本市況は停滞しているが中国の景況感回復傾向もあり、増収増益

売上	連結	連結売上高は、前年同期比105.5%、15億円増の302億円
	日本	前年同期比91.1%の86億円 医療関連は好調だが、特に電子部品・半導体関連の落ち込みの影響大
	中国	前年同期比114.5%の172億円 自動車関連の復調もあり増収
	東南アジア	前年同期比98.2%の14億円 インドは好調だが、シンガポール、ベトナムが不調
	欧米他	前年同期比110.0%の29億円 欧州他が好調に推移、米州は堅調
利益	営業利益は、前年同期比125.6%の1,172百万円 経常利益は、前年同期比102.5%の1,194百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、624百万円 （前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失793百万円）	
ネット資金	四半期純利益の計上等により、期首から97百万円増加	

■ 2025年3月期3Qの決算ハイライト

- 売上面では日本市況は停滞しているが中国の景況感回復傾向による影響、利益面では中国での増収効果が大きく、増収増益

損益計算書サマリー(3Q比較)

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高	28,699		30,282		1,582	105.5%
営業利益	3.3%	934	3.9%	1,172	238	125.6%
経常利益	4.1%	1,164	3.9%	1,194	29	102.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (純損失)	- ▲	793	2.1%	624	1,417	-

【為替レート(実績)】 1人民元=20.94円/1USD=150.61円

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

3

■ 決算数値の概要

■ 売上高は302億82百万円で前年同期比105.5%、15億82百万円の増収

■ また、営業利益は11億72百万円、経常利益は11億94百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億24百万円

売上高と利益(3Q比較)

(単位:億円)

売上高

286(19.95)

(うちFA売上高)

302(23.43)

9.34

営業利益

11.72

【前年同期比較】

売上高 15 億 82 百万円 増収

営業利益 2 億 38 百万円 増益

純利益 14 億 17 百万円 増益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

7.93

純利益

6.24

2024年3月期

2025年3月期



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4

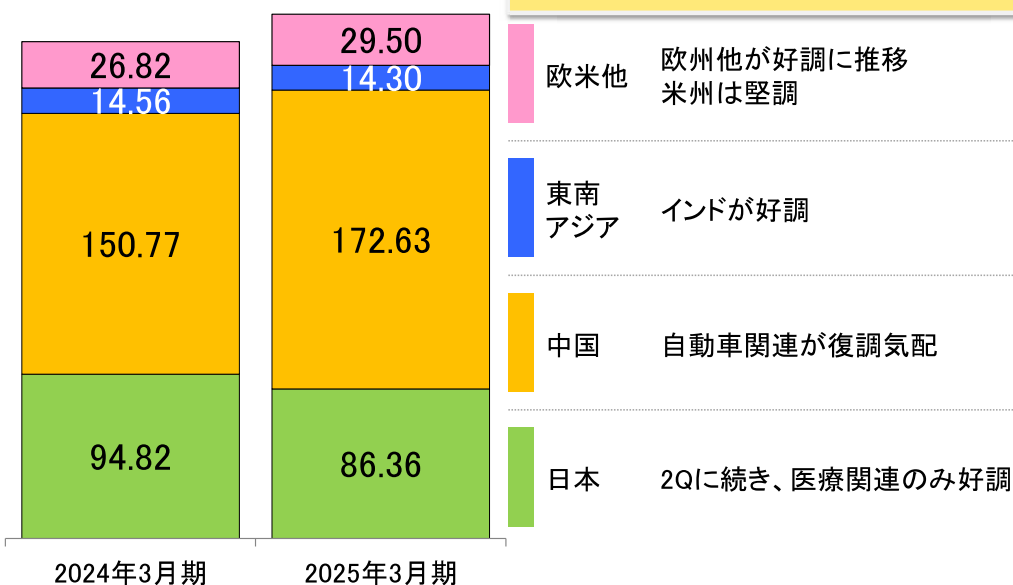
■ 2024年3月期と2025年3月期の売上高・利益比較(3Q)

■ FA売上含め前年同期の数値と比較して、増収増益

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(3Q比較)

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

5

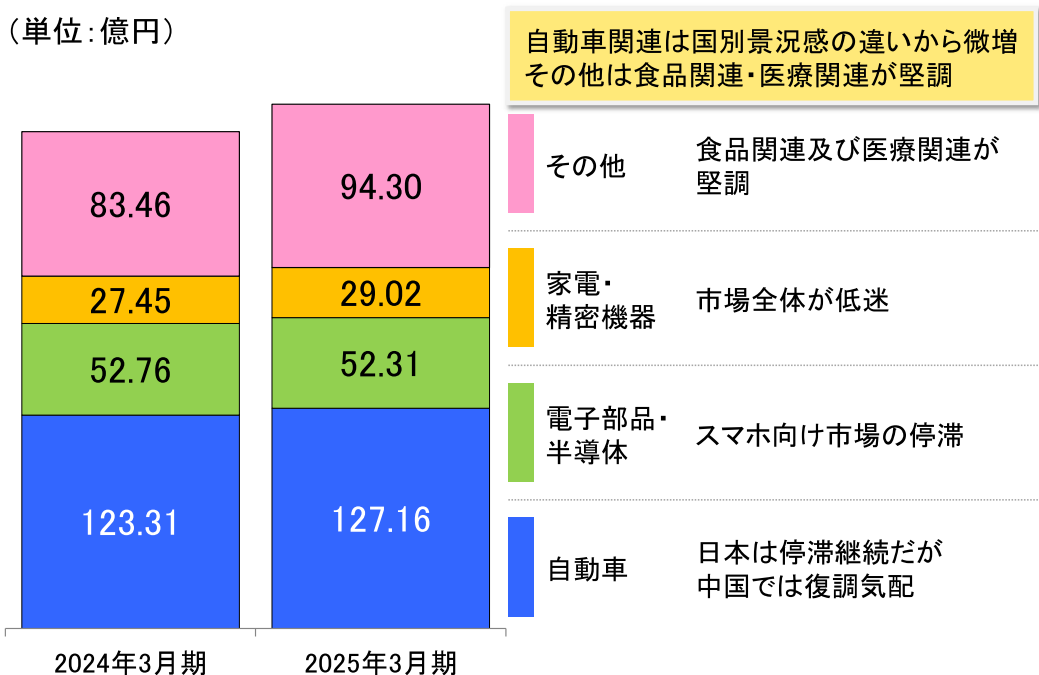
■ 2024年3月期と2025年3月期の地域別の売上高比較(3Q)

- 日本と東南アジアが前年同期を下回った一方、中国と欧米他が前年同期を上回る実績

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(3Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

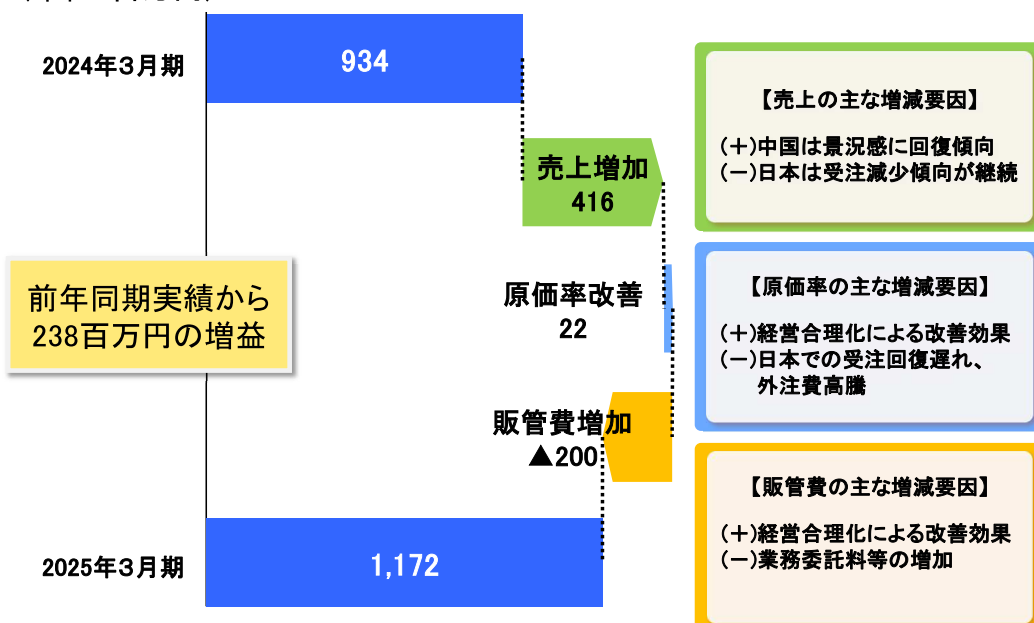
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

6

- 2024年3月期と2025年3月期の業種別の売上高比較(3Q)
- 自動車関連は、日本は停滞継続となったが、中国において復調気配
- 電子部品・半導体関連は日中ともにスマホ向け市場停滞
- 家電・精密機器関連は市場全体が低迷しているものの、為替の影響もあり増
- その他は食品関連が引き続き堅調
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(3Q比較)

(単位:百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

7

■ 営業利益の増減分析(3Q)

- 前年同期の営業利益9億34百万円に対して、売上増による4億16百万円の増益効果

原価率については、経営合理化による増益要因があったものの、材料費の高止まりや外注費高騰等の減益要因もあり、22百万円の増益効果

販管費は経営合理化による販管費減少等の増益要因はあったものの、業務委託料等の増加や営業活動強化の影響もあり、2億円の減益影響

- 結果、2025年3月期3Qの営業利益は、前年同期から2億38百万円の増益となり、11億72百万円を計上

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	29,649	31,818	2,168
総負債	10,899	11,167	268
うち有利子負債	3,563	3,519	▲ 43
純資産	18,750	20,650	1,900
ネット資金	2,477	2,574	97
自己資本比率	63.1%	64.8%	1.7pt

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	742	744	1
減価償却費(無形固定資産含む)	862	883	21

■ 貸借対照表サマリー

- 総資産は、投資有価証券の増加、受取手形及び売掛金の増加等により、21億68百万円の増加
- 総負債は、支払手形及び買掛金の増加等により、2億68百万円の増加
- 純資産は、増資による資本金及び資本準備金の増加と為替換算調整勘定の増加等により、19億円の増加
- 上記の結果、自己資本比率は前期末から1.7ポイント上昇し、64.8%
- 設備投資額は、前年同期と横ばいとなる1百万円増加の7億44百万円

2025年3月期 通期連結業績及び配当の予想を据え置き

(単位:百万円)

	2024年3月期 (実績)		2025年3月期 連結累計期間		
			業績予想	前期差	前期比
売上高		38,344	40,800	2,456	106.4%
営業利益	3.2%	1,240	3.9% 1,600	360	129.0%
経常利益	3.7%	1,421	3.7% 1,500	78	105.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	-	▲577	2.0% 800	1,377	-
自己資本利益率 (ROE)		-	4.1%	-	
投下資本利益率 (ROIC)		3.9%	4.8%	0.9pt	

2025年3月期
配当予想

19円48銭(予定) = 中間 9円80銭 + 期末 9円68銭

【想定為替レート】 1人民元=21円03銭/1USドル=151円44銭

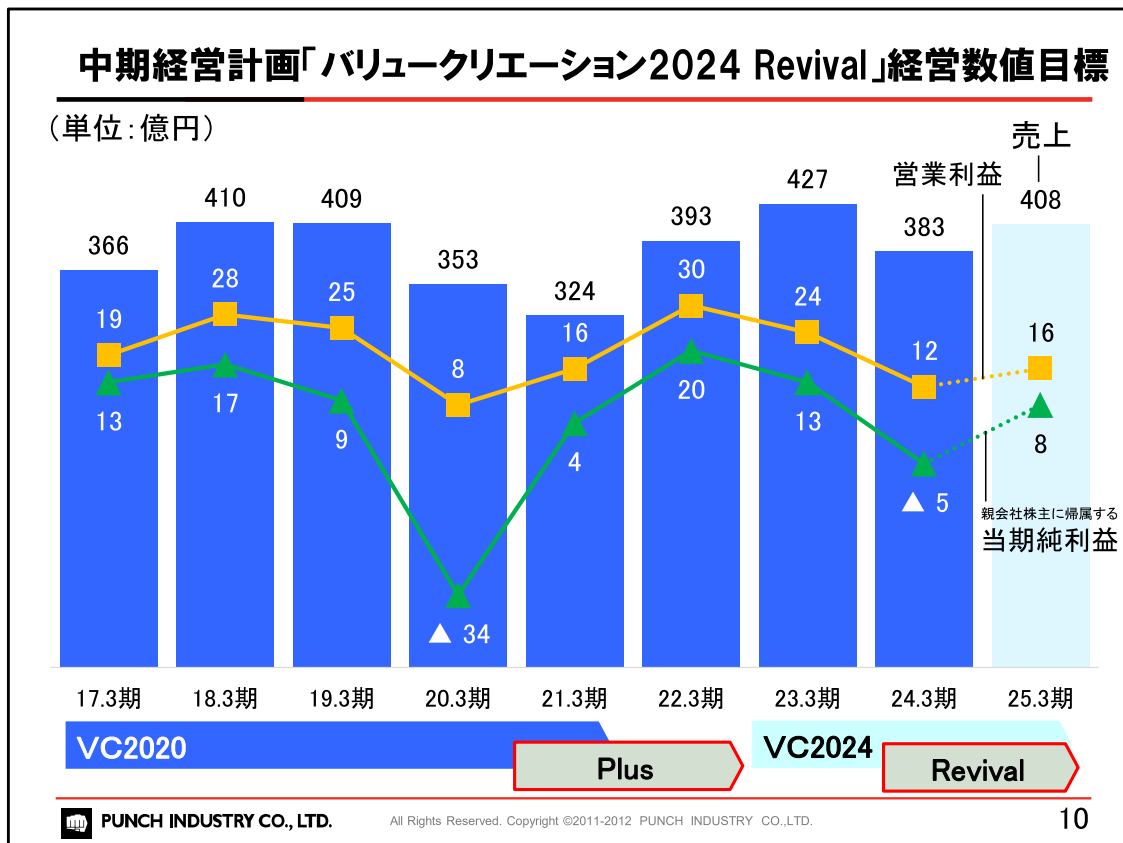
【設備投資計画】 設備投資額:15億円 減価償却費:11億円

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

9

- 「VC2024 Revival」最終年度である2025年3月期の通期連結業績及び配当の予想に修正なし
- 想定為替レートは、1人民元=21円03銭、1USドル=151円44銭に変更しているが、レート変更による影響は軽微
- 設備投資計画は約15億円、減価償却費は11億円という見込みを据え置き

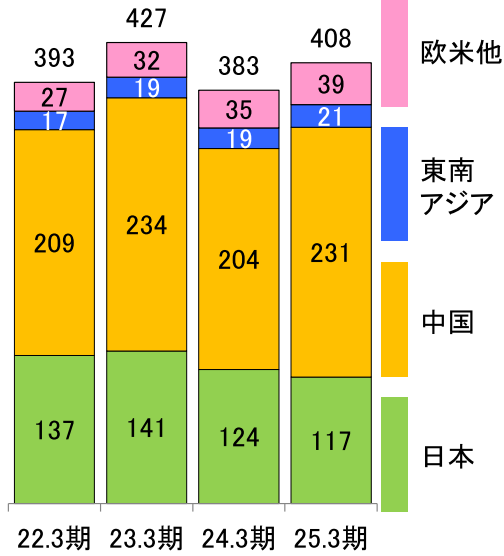


- 中期経営計画期間中の売上・営業利益・当期純利益の推移グラフ
- 現・中期経営計画「VC2024 Revival」は2025年3月期で最終年度を迎えており、「付加価値の高い特注品ビジネスに、より特化し、持続的な利益成長を目指す」ことを基本戦略とし、事業構造の改革に取り組んできており、この基本戦略の一環として、ミスミグループとの資本業務提携契約を締結
- 資本業務提携を通じてお互いに相乗効果を生み、両社の業績向上に寄与するよう、「商品供給」「物流」「調達」「海外展開」等の協業内容のタスクについて協議中
- 協業により、大きな効果は見込めると考えているが、協議中の案件が多く、業績貢献の度合いをどこまで織り込むかの上振れ幅が不透明であることも事実
- そのため、2026年3月期は中期経営計画を策定せず、効果の測定を行う期間として設定することを2024年11月に公表済み
- 資本業務提携による業績改善も含め、資本コストや株価を意識した経営を継続すべく、引き続き、「稼ぐ力の強化」を企図した「ROIC経営」にも取り組んでいく
- 機動的な自己株式取得を含め、積極的な株主還元に取り組むなかで、IR活動の活性化にも継続して注力し、時価総額やPER・PBRの向上も図っていく

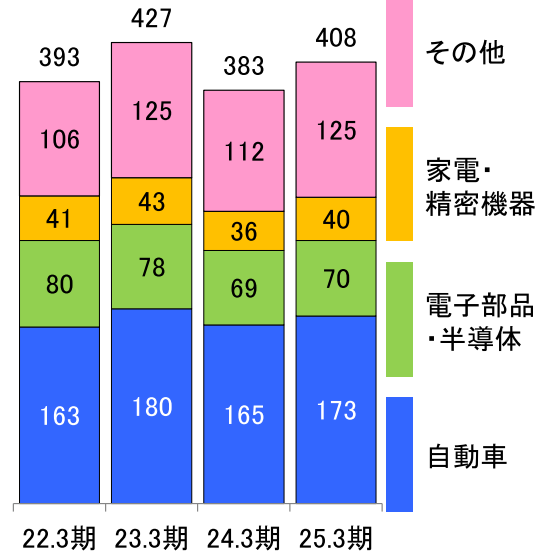
地域別・業種別売上の数値目標

日本以外の受注環境は好転、かつ為替影響もあり前期から増収幅は拡大と予想

(単位:億円)



(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

11

■ 2025年3月期の売上予想408億円の地域別・業種別売上の予想値



- 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

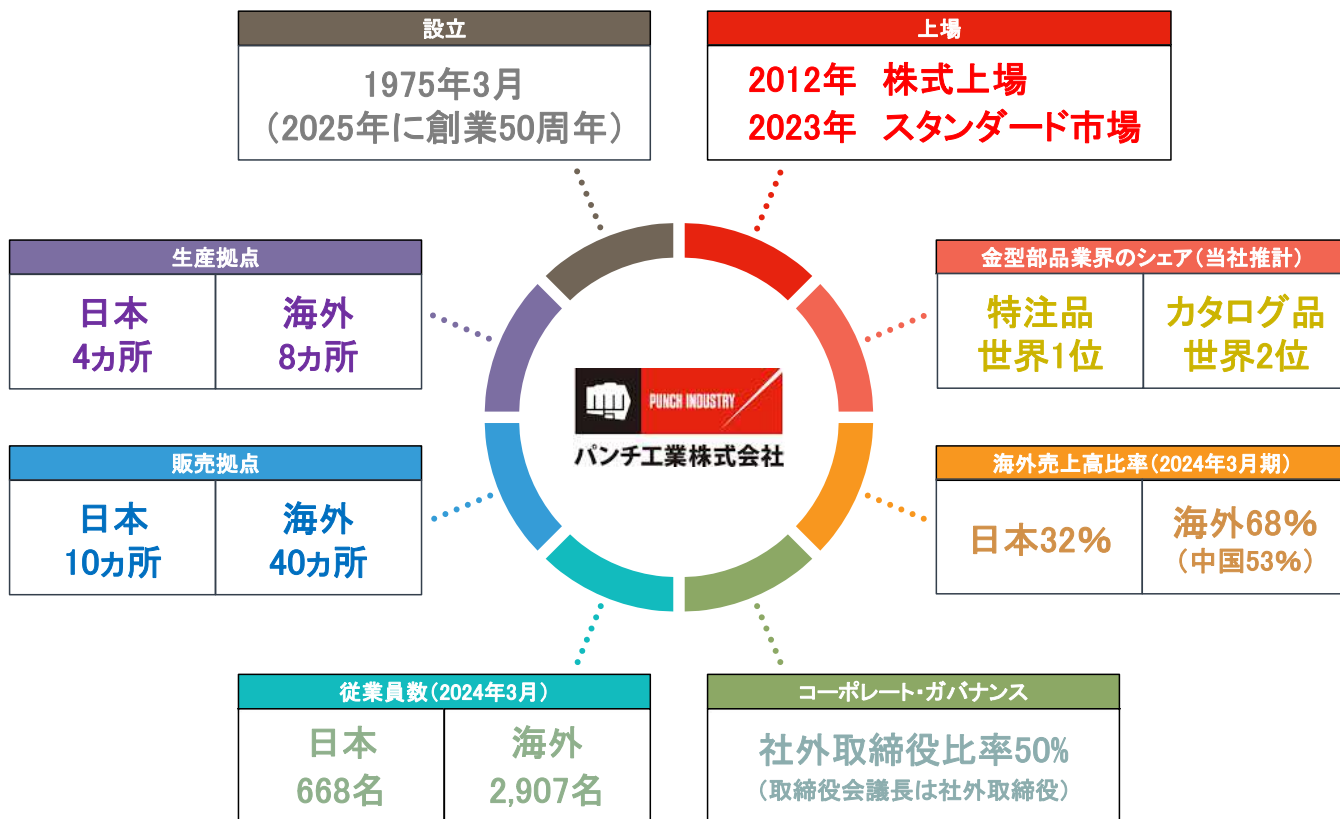
- 中期経営計画
 - http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html

- 決算短信
 - <http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

- 決算説明資料
 - <http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

- IRニュース一覧
 - <https://www.punch.co.jp/ir/2025/>

ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

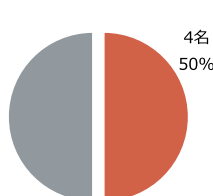
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

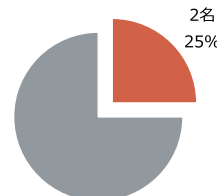
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役	高辻 成彦
	社外取締役 取締役会議長	大里 真理子
取締役(監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

社外取締役比率



女性取締役比率

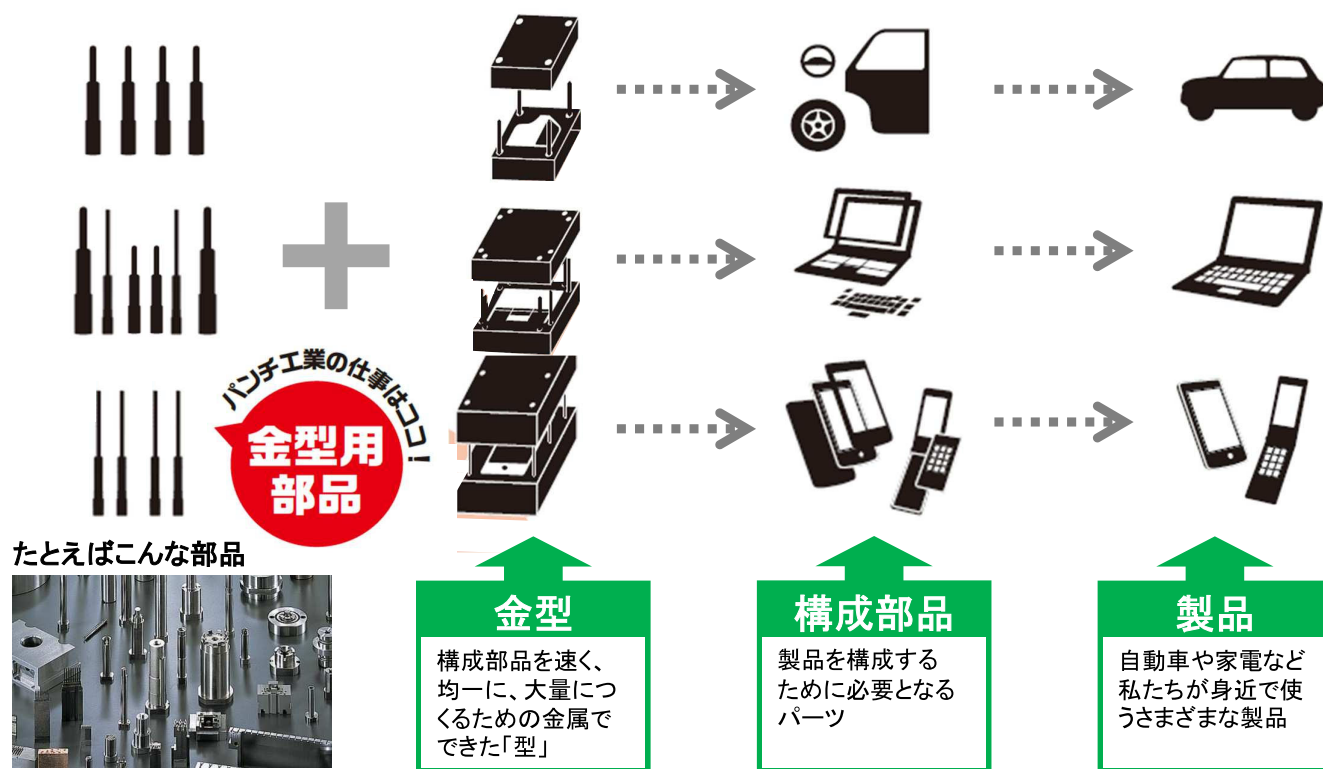


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶解したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品(押し出しピン)です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



パンチグループの特徴

日本・中国
特注金型部品シェア1位 ※当社推計



カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

スピーディなソリューション

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応



一貫通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



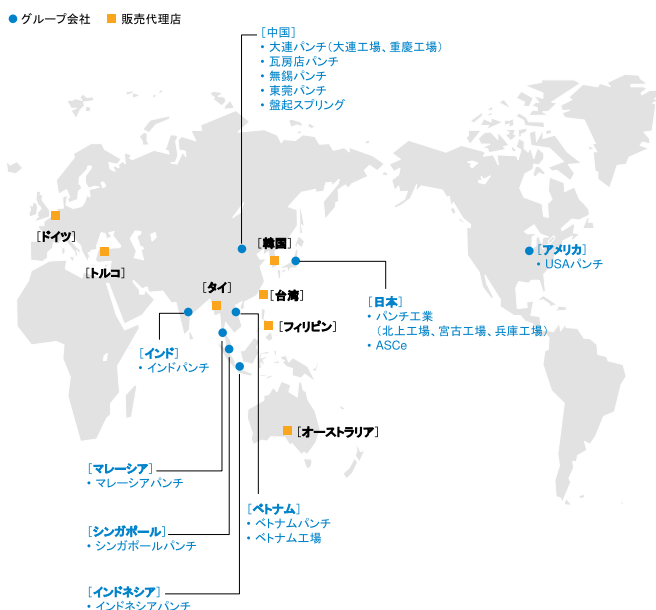
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

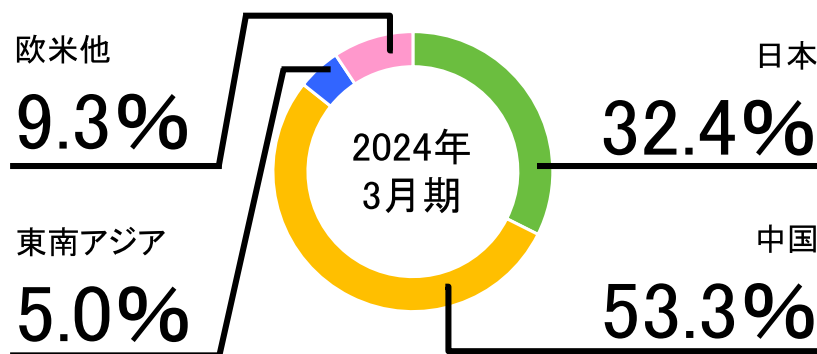


パンチグループのネットワーク

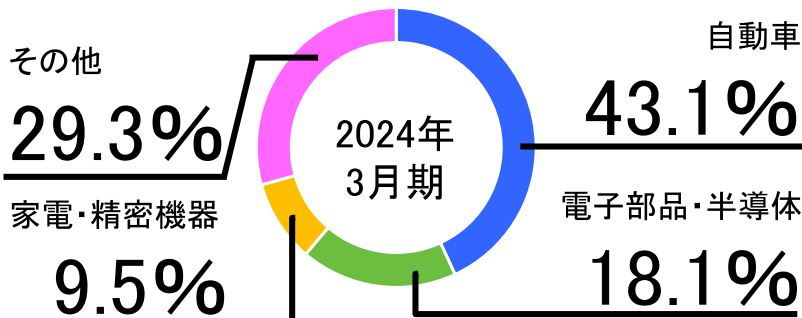


地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比

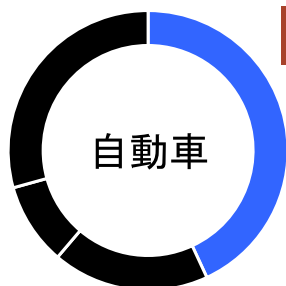


業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
 中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



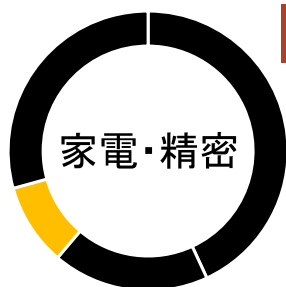
主要顧客

自動車メーカー及び
Tier1,2
金型メーカー



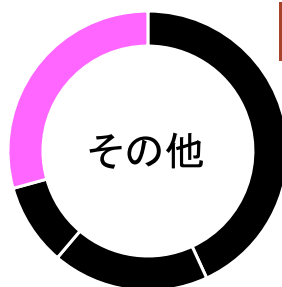
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー

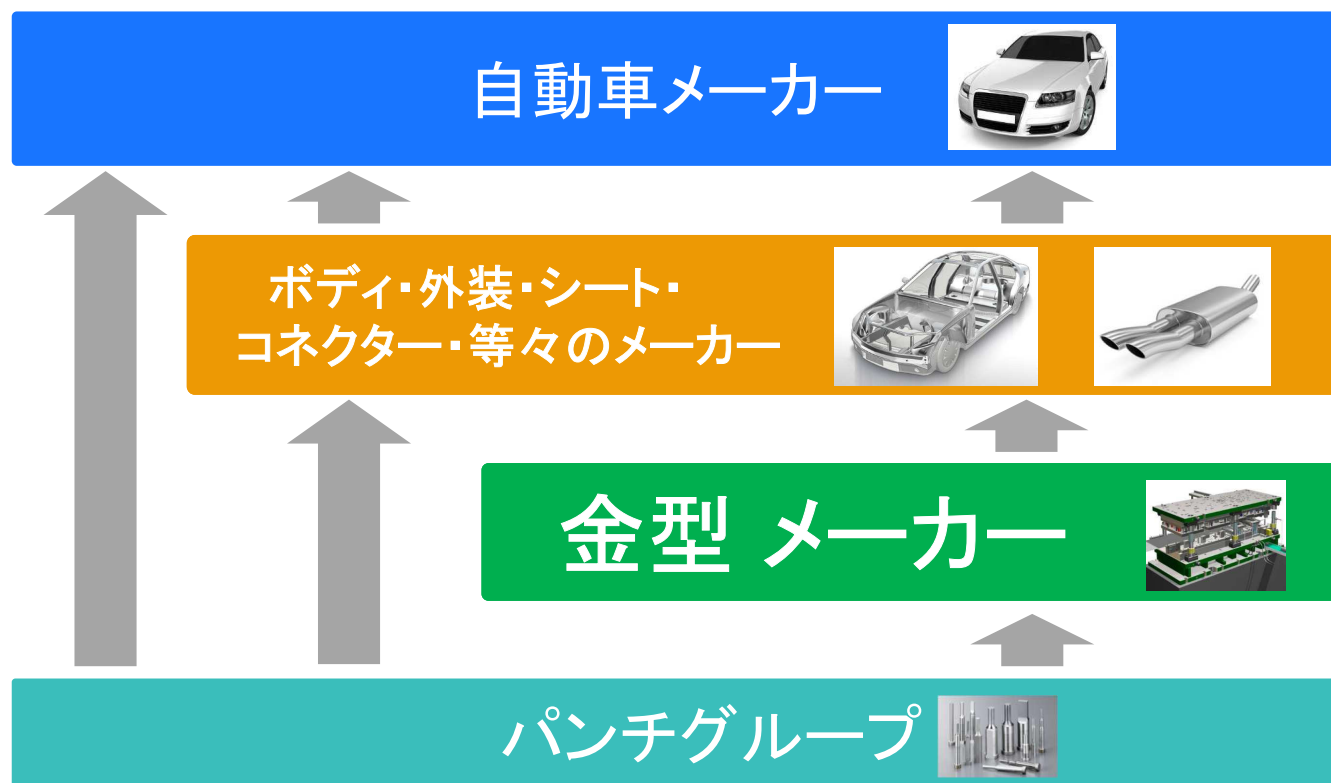


主要顧客

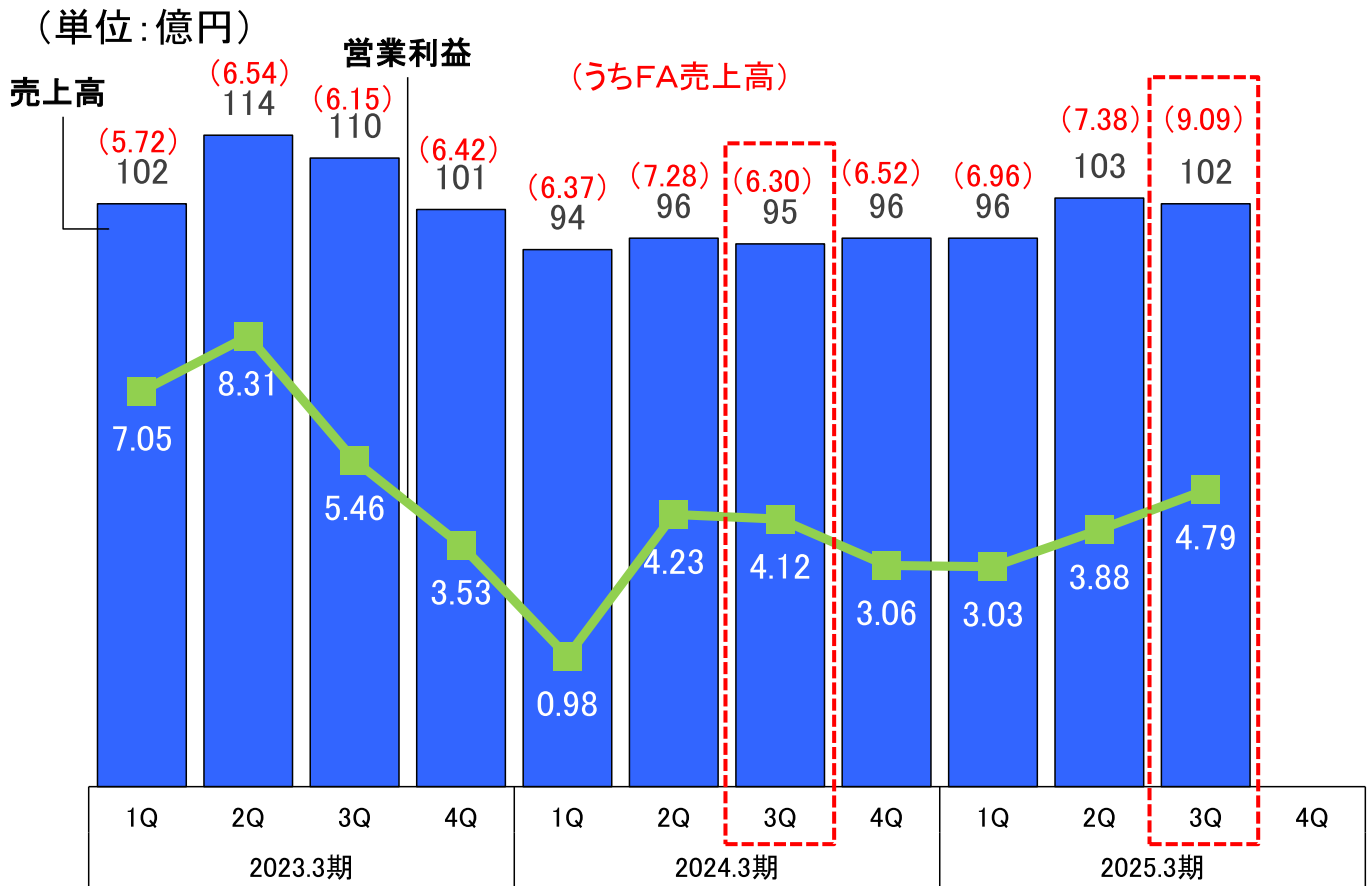
文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー

エンドユーザーのイメージ (例:自動車関連)

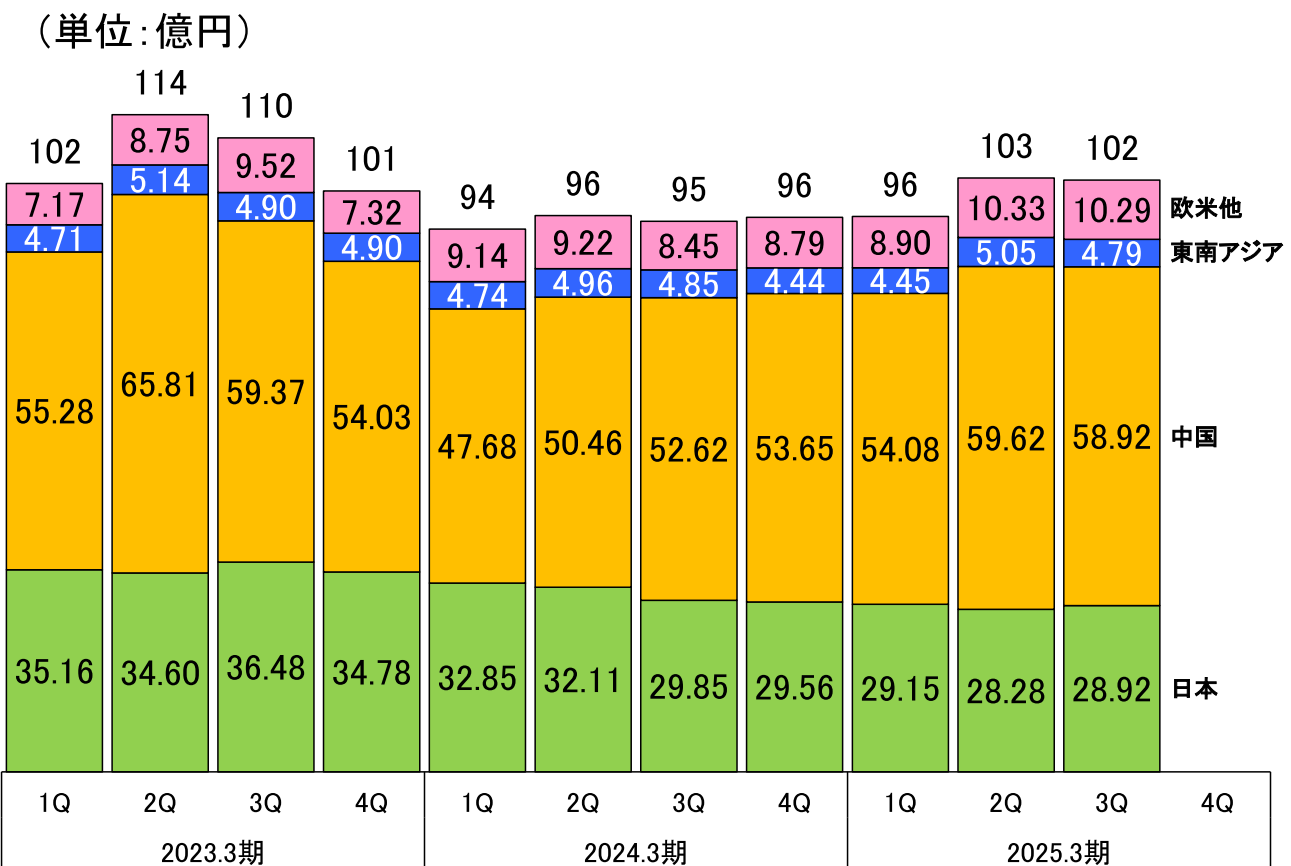
大多数のエンドユーザーは金型メーカー



売上高と営業利益の推移

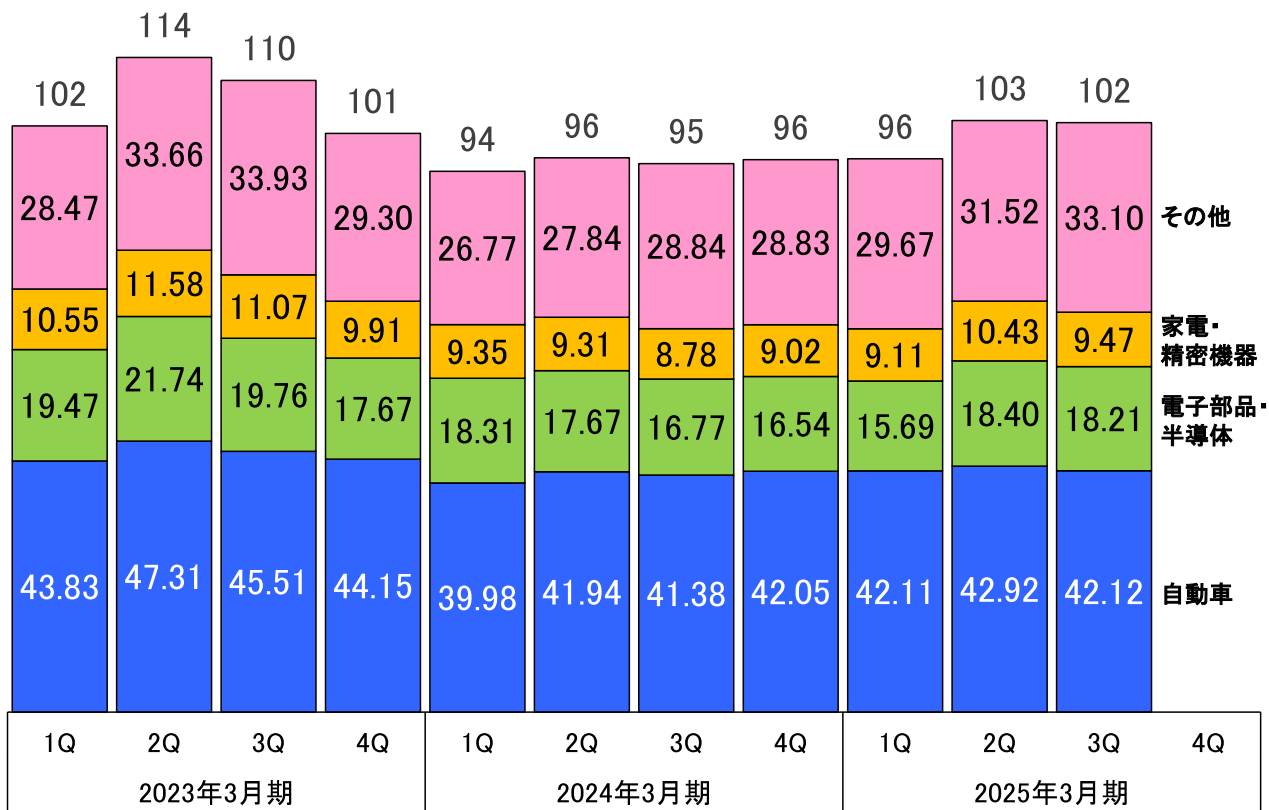


地域別売上高



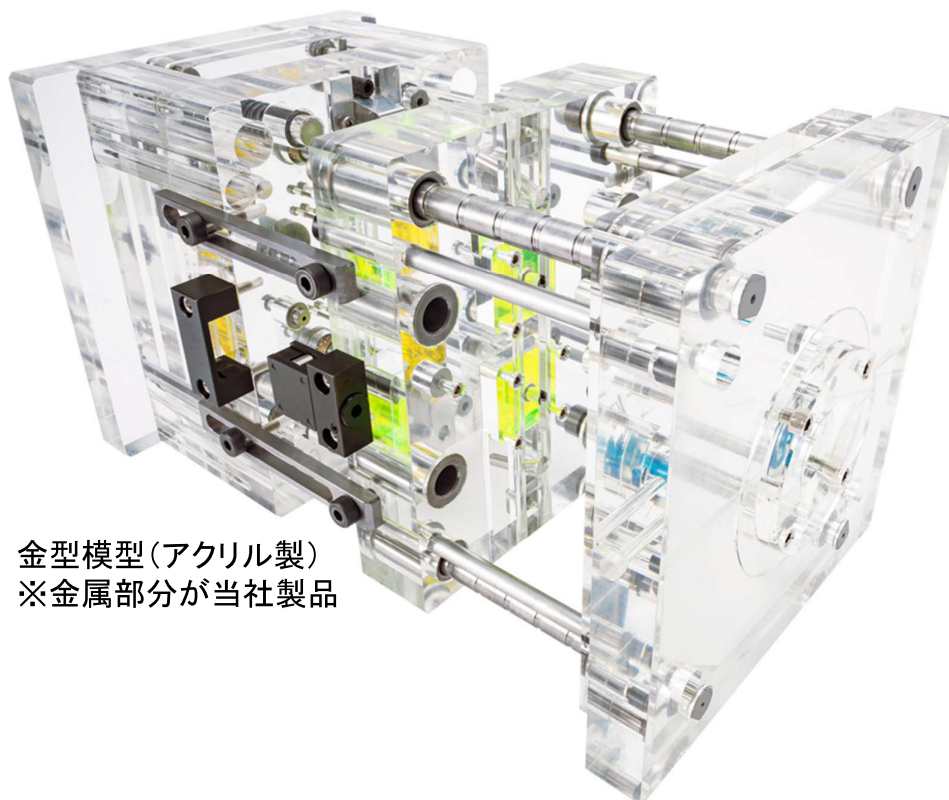
業種別売上高

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.



金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。